ONKYO®

INTEC
COMPONENT WORLD

チューナーアンプ

R-801A
取扱説明書

はじめに

操作準備について

操作する

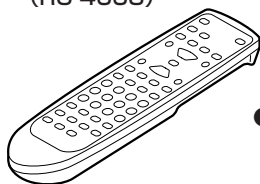
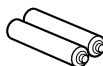
その他

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

特長

■155mm幅のきわめてコンパクトな単品シリーズ
■ ワイドレンジ技術WRAT(WIDE RANGE AMPLIFIER TECHNOLOGY)搭載
■ 4系統入力装備
■ サブウーファー端子装備
■ 超低域を自然に増強するアコースティック・プレゼンス回路
■ プリセット30局メモリー
■ オートプリセットメモリー機能(FM)
■ ウイークリープログラムタイマー
■ システムコントロールリモコン装備

付属品

■ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
( )内の数字は数量を表わしています。

●取扱説明書（本書 1）
●保証書（1）

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災･感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

● スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● アンテナ工事には経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。

● 屋外アンテナは送電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

各部の名称と働き

📖表示は詳しい説明のあるページです。

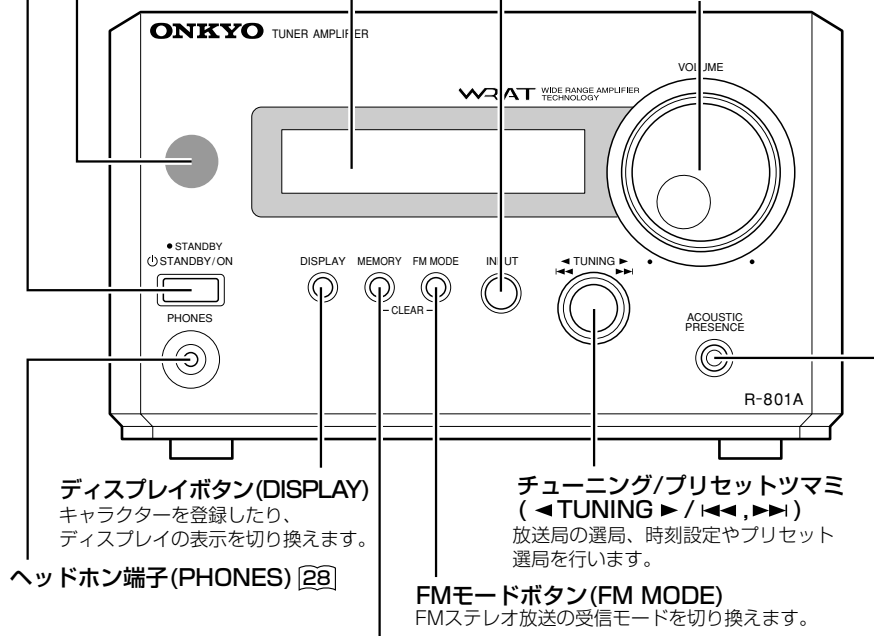
■前面パネル

電源ボタン(STANDBY/ON)
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

リモコン受光部 22

表示部

入力切り換えボタン(INPUT)
聞くソースを選びます。

音量調整ツマミ(VOLUME)
音量を調整します。

ディスプレイボタン(DISPLAY)
キャラクターを登録したり、
ディスプレイの表示を切り換えます。

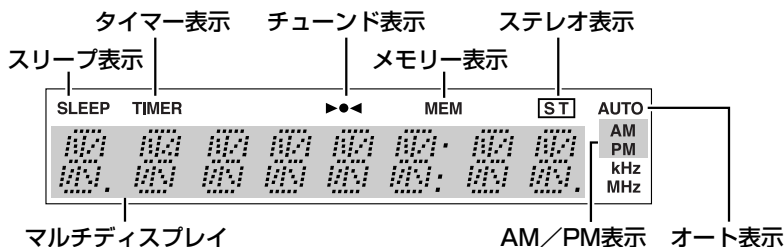
ヘッドホン端子(PHONES) 28

メモリーボタン(MEMORY)
プリセットナンバーやキャラクターを記憶させます。

FMモードボタン(FM MODE)
FMステレオ放送の受信モードを切り換えます。

チューニング/プリセットツマミ
(◄TUNING► / ⏮,⏭)
放送局の選局、時刻設定やプリセット選局を行います。

アコースティックプレゼンスボタン
(ACOUSTIC PRESENCE)
アコースティックプレゼンスを切り換えます。

■表示部

■リモコン

電源ボタン(STANDBY/ON)
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

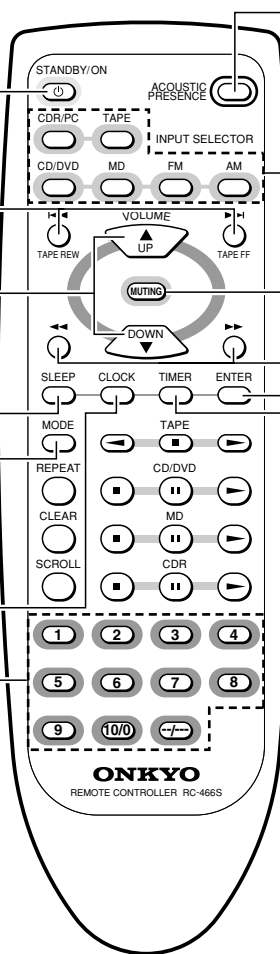
プリセットボタン(⏮,⏭)
プリセットされた放送局を選びます。

音量調整ボタン(VOLUME▲UP/DOWN▼)
音量を調整します。本機の音量調整ツマミと同じ働きをします。

スリープボタン (SLEEP)
スリープタイムを設定します。

モードボタン (MODE)
FM放送を受信時、オートとモノを切り換えます。

クロックボタン (CLOCK)
現在の時刻を表示します。

数字ボタン
時刻設定やプリセット局の選局に使います。

アコースティックプレゼンスボタン(ACOUSTIC PRESENCE)
アコースティックプレゼンスを切り換えます。

入力切り換えボタン(INPUT SELECTOR)
聞くソースを選びます。

ミューティングボタン(MUTING)
音量を小さくします。

チューニングボタン (◀◀,▶▶)
放送局を選局するときに使用します。
時刻設定などにも使用します。

エンターボタン (ENTER)
タイマーボタンや◀◀,▶▶ボタンで選択した（表示部に表示させた）内容を確定します。

タイマーボタン（TIMER)
押すたびに、次の6種類の設定モードが切り換ります。

- **WEEKDAY**：設定した曜日のタイマー演奏の設定
- **WEEKEND**：設定した曜日のタイマー演奏の設定
- **REC**：タイマー録音の設定
- **DAYSET**：WEEKDAYとWEEKENDの曜日の変更
- **ADJUST**：現在時刻と曜日の設定
- **24H/12H**：24時間表示と12時間表示を切り換えます。ENTERボタンを押し、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでどちらかの表示を選択します。

各部の名称と働き

■リモコン

RI接続すると下記のボタンが使えます。

＊モードボタン(MODE)、リピートボタン(REPEAT)、クリアボタン(CLEAR)、スクロールボタン(SCROLL)の詳しい操作方法は、本機にRI接続した機器それぞれの取扱説明書をご覧ください。

接続

INTEC155シリーズのC-701A(CDプレーヤー)、MD-101A(MDレコーダー)、CDR-201A(CDレコーダー)と接続する場合

システム接続のしかた
(INTEC155 シリーズの接続)

本取扱説明書14〜15ページをご覧ください。

INTEC155シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機に接続されている機器の電源を入れたり、再生を始めますと、本機の電源が自動的に入ります。また、本機の電源を入、切しますと接続されている機器全体の電源が入ったり、切れたりします。

ご注意 本機と各機器の接続が正しくないとオートパワーオン機能は動作しません。オートパワーオン機能を働かせる場合は、本機と各機器が正しく接続されていることを確認してください。

ダイレクトチェンジ
本機に接続されている機器を再生すると、本機の入力が自動的に切り換わります。

リモコン操作
本機に付属のリモコンで各機器を操作することができます。

詳しくは本取扱説明書11〜12ページをご覧ください。

タイマー操作
本機でタイマー時間を設定し、タイマー操作や、タイマー録音ができます。

詳しくは本取扱説明書の38〜48ページをご覧ください。

CDダビング
CDプレーヤーとMDレコーダー、CDレコーダーの組み合わせで便利なCDダビングが行えます。

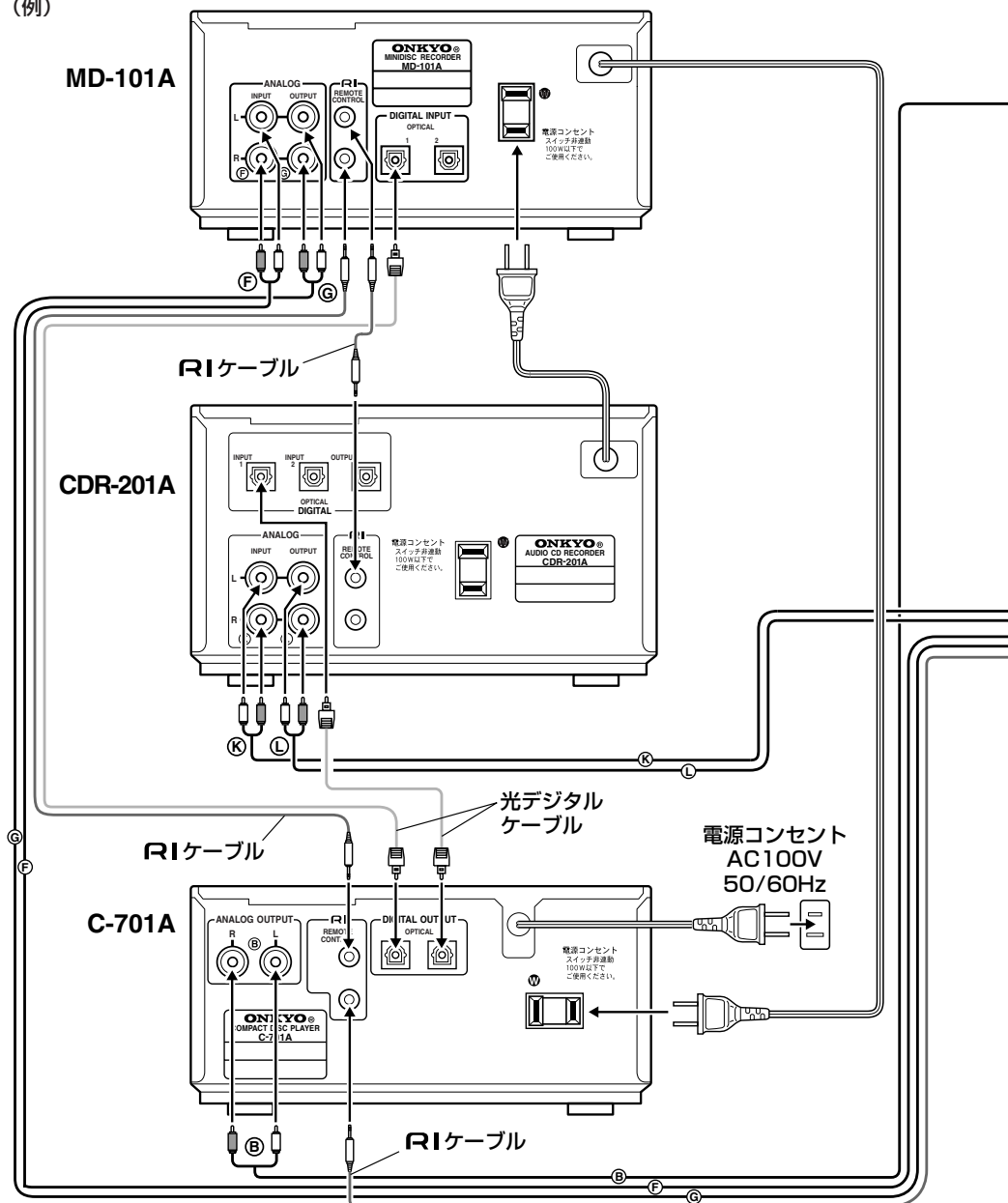
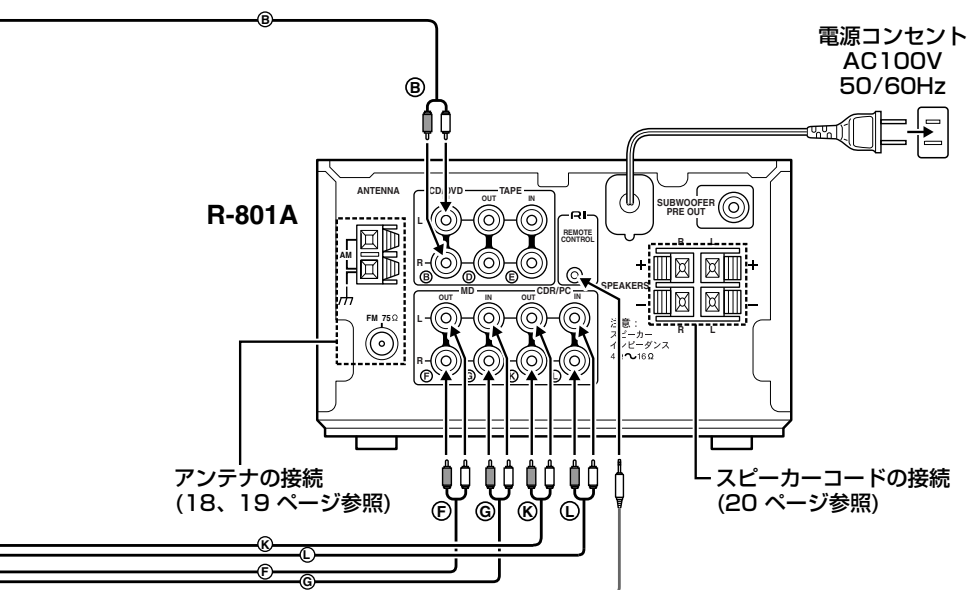
トラック指定CDダビング
演奏トラックを指定してCDプレーヤーからMDレコーダー、CDレコーダーへの録音をワンタッチで行えます。

CDシンクロ録音
MDレコーダーまたはCDレコーダーを録音待機状態にしておけばCDプレーヤーのプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくはMD-101A、C-701A、CDR-201Aの取扱説明書をご覧ください。

- 接続がまちがっていると各機能は働きません。14〜15ページを参照しながら正しく、確実に接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れる場合があります。電源コード接続時に他の機器(コンピューターなど)への影響を確認してください。支障が出ると予想される場合は、他のブレーカーから配線されたコンセントを使用してください。
- C-701Aをシステム操作させる場合は、本機の入力表示を必ず"CD"に切り換えてください。(17ページ参照)

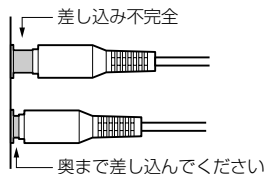
■本機のタイマー機能を使用する場合のシステム接続のしかた

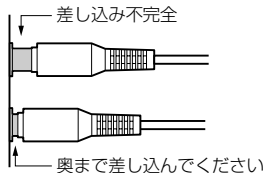
INTEC155シリーズのCDプレーヤー、MDレコーダー、CDレコーダーと接続する場合
（例）

ご注意

- **すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。**
- 各機器に付属のオーディオ用ピンコード(赤、白プラグ付きピンコード)を使用し、赤いプラグは(R)側に、白いプラグは(L)側に接続します。また、各機器の端子に印刷されている記号(Ⓑと Ⓑ、Ⓓと Ⓓなど)を合わせて接続します。

他機 L端子へ…白　　白…本機 L端子へ
他機 R端子へ…赤　　赤…本機 R端子へ

差し込み不完全
奥まで差し込んでください

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用光デジタルケーブルを使用するときは、折り曲げたり、きつく巻いたりしないでください。
- オーディオ用ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねますと、音質低下の原因となります。
- 各機器に付属のRIケーブルで、RIリモコン端子の接続を確実に行なってください。接続がされていませんとシステムとしての操作をすることができません。
- MDレコーダーおよびCDレコーダーは、熱に弱い部品が使用されていますので、本機の上に置かないようにしてください。

■一般的な接続のしかた

- **すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。**
- 接続は、オーディオ用ピンコード(赤、白プラグ付きピンコード)を使用し、赤いプラグは(R)側に、白いプラグは(L)側に接続します。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

CDプレーヤー／DVDプレーヤー
音声出力(OUT)端子
R L

テープデッキ
入力(IN)端子　出力(OUT)端子
R L　R L

RI端子
(21ページ参照)

❸ サブウーファー端子
(次ページ参照)

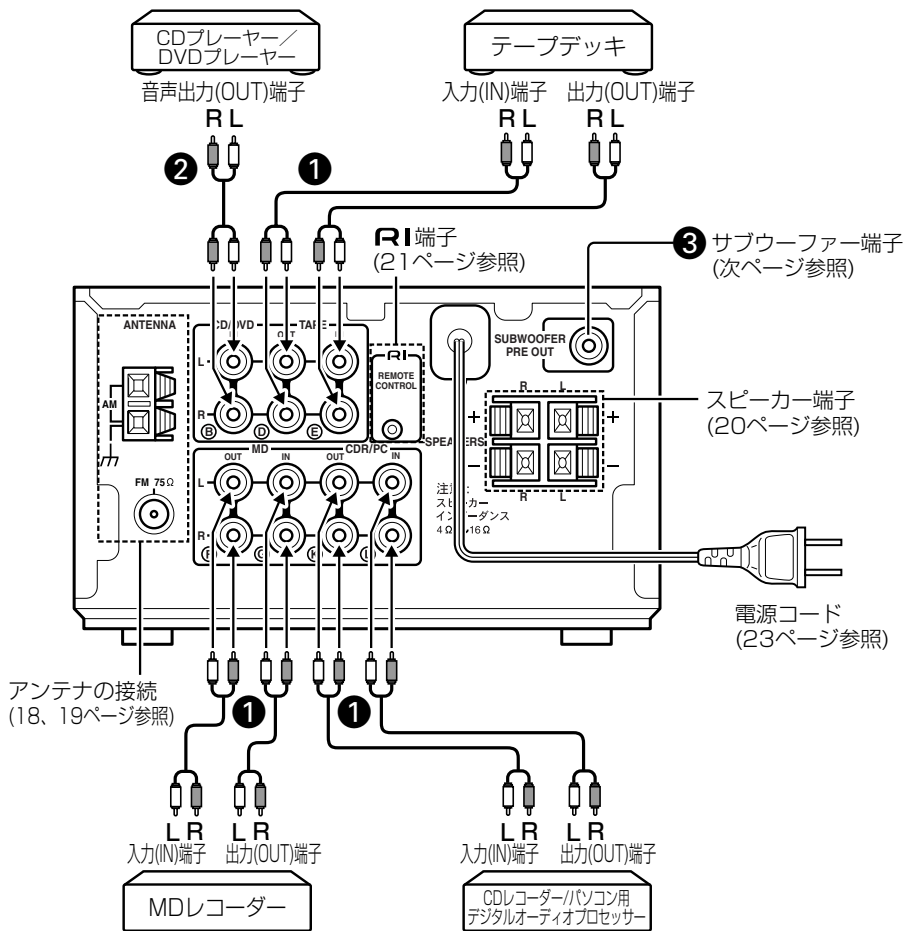
ANTENNA
AM
FM 75Ω
CD/DVD　TAPE
OUT
L
R
REMOTE CONTROL
SUBWOOFER PRE OUT
MD　CDR/PC
OUT　IN　OUT　IN
SPEAKERS
注意：
スピーカー
インピーダンス
4Ω〜16Ω

スピーカー端子
(20ページ参照)

電源コード
(23ページ参照)

アンテナの接続
(18、19ページ参照)

L R　L R
入力(IN)端子　出力(OUT)端子
MDレコーダー

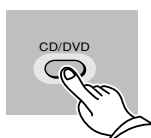
L R　L R
入力(IN)端子　出力(OUT)端子
CDレコーダー/パソコン用デジタルオーディオプロセッサー

❶CDR/PC端子(CDR/PC)、MD端子(MD)、テープ端子(TAPE)について

左図の接続以外にも、CDR/PC端子(CDR/PC)に2台目のMDレコーダーやテープデッキなどを、同様にMD端子(MD)、テープ端子(TAPE)にも2台目の機器を接続することができます。(ただしRI端子付きのオンキヨー製テープデッキやMDレコーダー、CDレコーダーなどをこのように接続する場合は、RIケーブルは接続しないでください。)

また、CDR/PC端子にはパソコン用のデジタルオーディオプロセッサーなどを接続することができます。

❷CD/DVD端子(CD/DVD)について

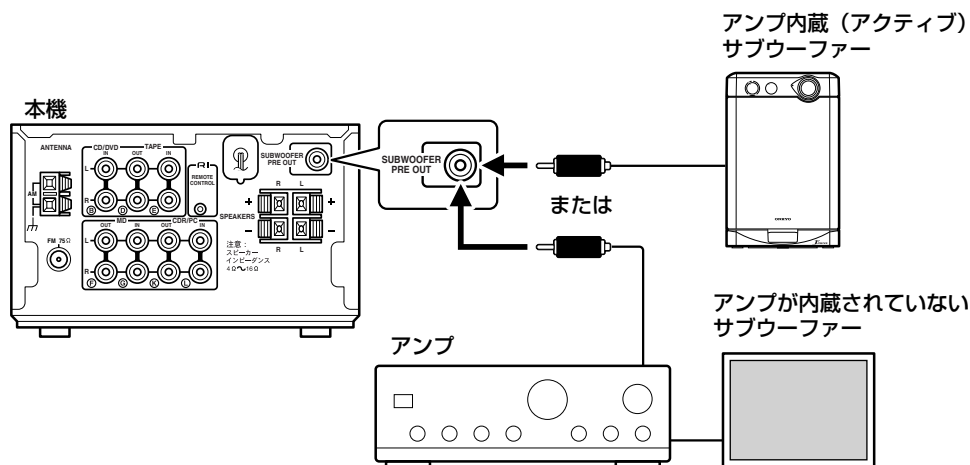
この端子にはCDプレーヤーまたはDVDプレーヤーの音声出力を接続することができます。

RI端子付きのオンキヨー製品でシステム接続を行うとき、CDプレーヤーを接続する場合は入力表示(INPUT)を“CD”に、DVDプレーヤーを接続する場合は入力表示を“DVD”に切り換えてください。

リモコン

入力表示(INPUT)の切り換えについて

CDおよびDVDの入力表示を変更するには、入力表示がCDもしくはDVDのときに、リモコンのCD/DVDボタンを2秒以上押し続けます。

❸サブウーファーを接続する場合は

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの(アクティブサブウーファー)を使うか、アンプを本機に接続してからサブウーファーをアンプに接続してください。

アンテナの接続

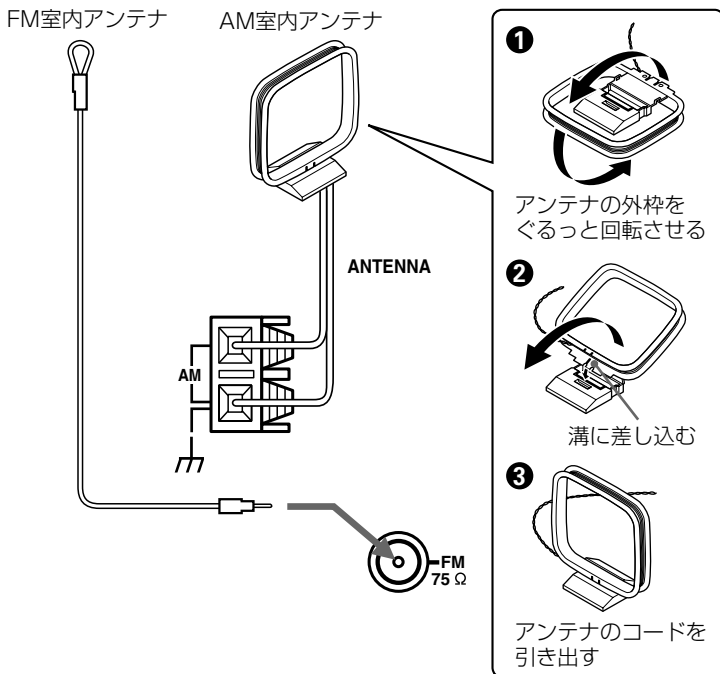
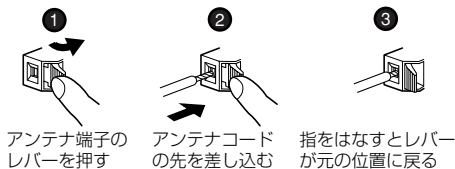
■室内アンテナの接続

付属のFM、AM室内アンテナをつなぐ

AMアンテナコードのつなぎかた

アンテナ端子の
レバーを押す

アンテナコード
の先を差し込む

指をはなすとレバー
が元の位置に戻る

AM室内アンテナについて

良好な受信状態になるように設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

ご注意

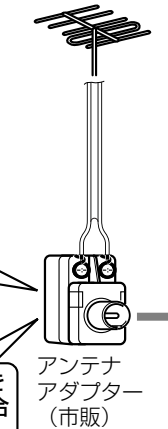
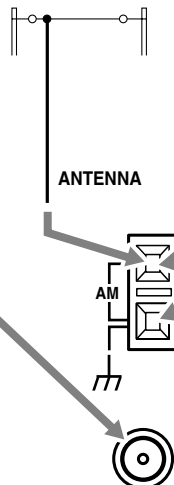
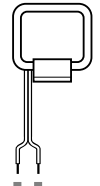
雑音の原因になりますので、AM室内アンテナは本機、パソコン、テレビ、接続コードからできるだけ離して設置してください。

FM室内アンテナについて

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながらひずみや雑音の最も少ない位置に押しピンなどを使ってアンテナの端を固定してください。

室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置して接続してください。

■屋外アンテナの接続

FM、AM屋外アンテナをつなぐ

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

ご注意

AM屋外アンテナを接続するときも、必ずAM室内アンテナを接続しておいてください。

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

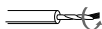
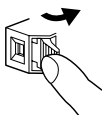
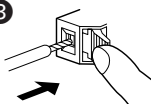
ご注意

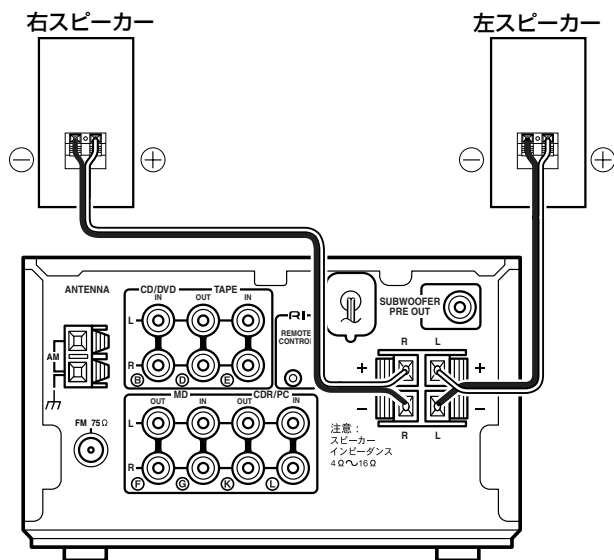
⚠ 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

スピーカーの接続

■スピーカーコードの接続

スピーカーコードとスピーカー端子は、以下のように接続してください。

❶ スピーカーのビニールカバーをはずし、しん線をよじる

❷ スピーカー端子のレバーを押す

❸ コードのしん線を差し込む

❹ 指をはなすとレバーが元の位置に戻る

ご注意

- スピーカーコードの芯線部が他の端子や金属部に接触していないか確認してください。
- プラス(＋)とマイナス(－)を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声が不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプが故障することがあります。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。

危険

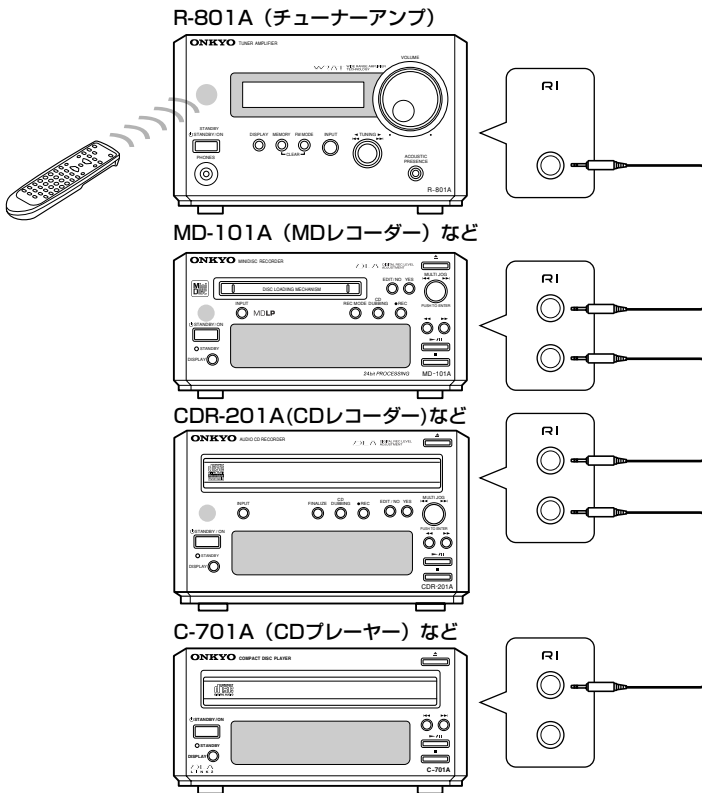
回路の故障を防ぐため、スピーカーコードの芯線のプラスとマイナスを絶対にショートさせないでください。

RIケーブルの接続

■RIケーブルの接続

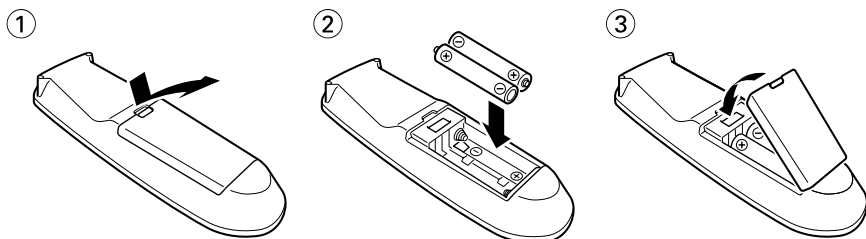
RI(リモート)端子付きオンキヨー製品でシステムアップした場合、システム機能を使うことができます。(本機にはRIケーブルは付属していません。インテック155シリーズの各機器に付属のRIケーブルをご使用ください。)

- 操作は本機に付属のリモコンを使用します。
- 本機のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

(例)

ご注意

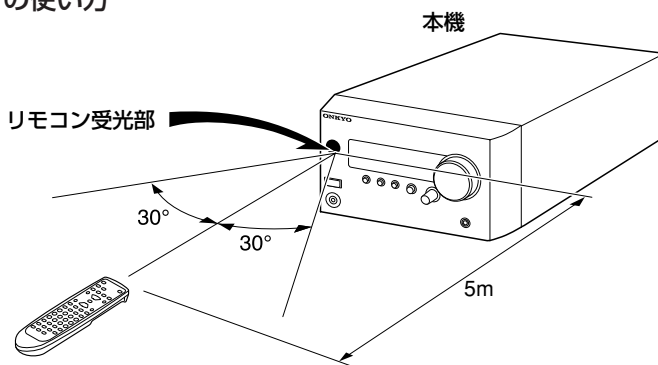
- RI端子はRI端子付きオンキヨー製品と組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。
- RI端子の2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。
- **CDプレーヤーまたはDVDプレーヤーを接続するときは、接続する機器にあわせて入力表示(INPUT)を変更してください。DVDプレーヤー接続時に入力表示が"CD"になっていたり、CDプレーヤー接続時に入力表示が"DVD"になっていますと、システム機能が正しく動作しません。**
  入力表示の切り換えについては17ページ「入力表示の切り換えについて」をご覧ください。

リモコン

■乾電池の入れかたと交換のしかた

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

ご注意

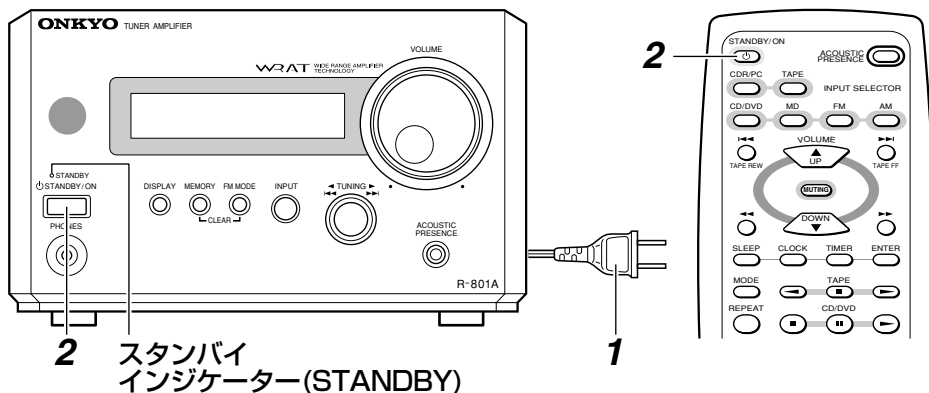
- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

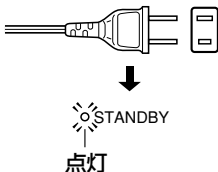
■リモコンの使い方

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

電源を入れる

あらかじめ、音量調整ツマミ(VOLUME)は左いっぱいに回しておいてください。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグを差し込むとスタンバイ状態になり、スタンバイインジケーター(STANDBY)が点灯します。

2

電源を入れる

電源ボタン(STANDBY/ON)を押すと電源が入り、スタンバイオン状態になります。スタンバイインジケーターは消灯します。
もう一度このボタンを押すと電源がスタンバイ状態になります。

回路が安定するまでに5秒程かかります。その間は音は出ません。

現在時刻と曜日を合わせる

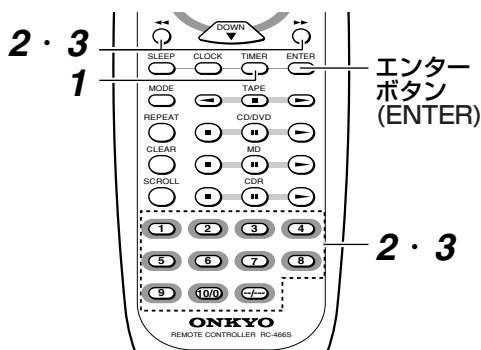
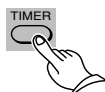
■時刻合わせをするには

付属のシステムリモコン（RC-466S）を使って操作します。

- 本書では電源が入った状態（スタンバイオン）で操作説明をしています。
- 本書では24時間表示での設定方法を説明していますが、設定後に12時間表示に切り換えることもできます。

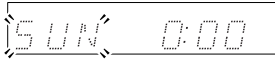
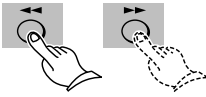
ご注意

- 数字ボタンで曜日や時刻を設定する場合は、時刻表示を24時間表示で行ってください。12時間表示ですと、数字ボタンでは設定をすることができません。
- 時刻合わせをしている時、1分間次の操作をしなかった場合表示部は消灯します。
- 時計を合わせたあとで停電があったり、電源コードをコンセントから抜いた場合は、表示部が消灯します。この時は再度時刻を合わせてください。
- 時計機能をご使用になる場合は、必ず本機の電源コードを常時通電している電源コンセントに接続してください。

1

“ADJUST”を選ぶ

タイマーボタン（TIMER）をくり返し押して、“ADJUST”を選びます。

- “ADJUST”表示のときにエンターボタン（ENTER）を押してください。
- タイマーボタンを押したあと約8秒間次の操作をしなかった場合、元の表示に戻ります。

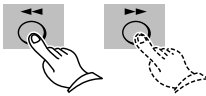
2

曜日を合わせる

チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押すと曜日が切り換わります。リモコンの数字ボタンで入力することもできます。

- 希望の曜日(日曜日の場合はSUN)が点滅しているときに、エンターボタン(ENTER)を押します。

曜日の表示は下記の通りです。

1：SUN （日曜日） 5：THU（木曜日）
2：MON （月曜日） 6：FRI （金曜日）
3：TUE （火曜日） 7：SAT （土曜日）
4：WED （水曜日）

3

時計を合わせる

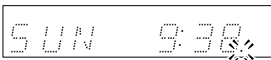
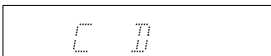
チューニングボタン(◀◀、▶▶)で時刻を入力します。
リモコンの数字ボタンで入力することもできます。
数字ボタンでの入力例：
午前9時38分にセットするには
10/0+9+3+8+ENTER
午前11時00分にセットするには
1＋1＋10/0＋10/0＋ENTER

- 10/0は0を表わします。

4

入力表示に切り換ります

時計をスタートさせる

時報などに合わせて、エンターボタンを押してください。入力表示に切り換わります。

- スタンバイ状態から時刻合わせをした場合、エンターボタンを押すと表示部は消灯します。

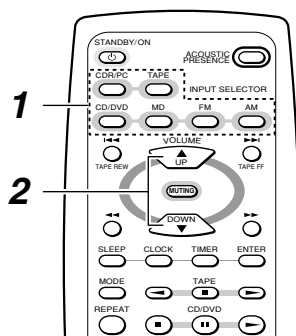
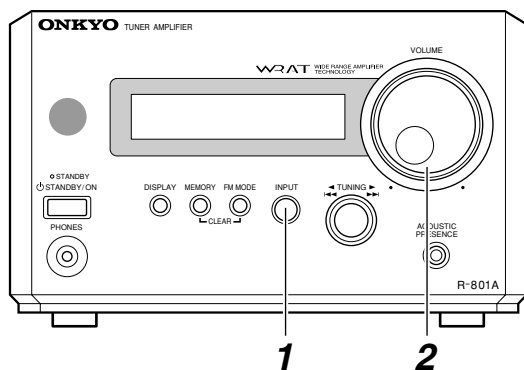
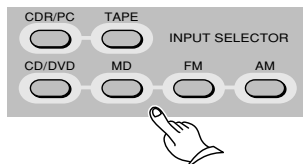
24時間表示／12時間表示を切り換えるには

1. タイマーボタン(TIMER)をくり返し押す。
 ●表示部に"24H/12H"が表示されます。
2. エンターボタンを押す。
3. チューニングボタン(◀◀、▶▶)で24H(24時間表示)または12H(12時間表示)を選ぶ。
4. エンターボタンを押し、決定する。

演奏を聞く

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

本機

リモコン

入力切り換えボタン(INPUT)で聞く機器(ソース)を選ぶ

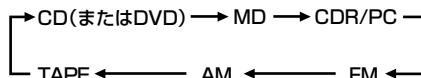
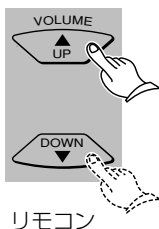
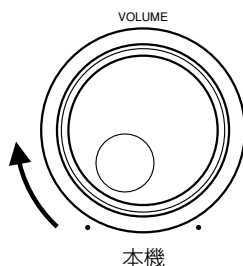
- 選んだ機器(ソース)の入力表示が表示部に表示されます。
- 入力切り換えボタンを押すたびに下記のように入力が切り換わります。

- リモコンの場合は押したボタンの入力に切り換わります。

2

VOLUME

VOLUME
UP
DOWN

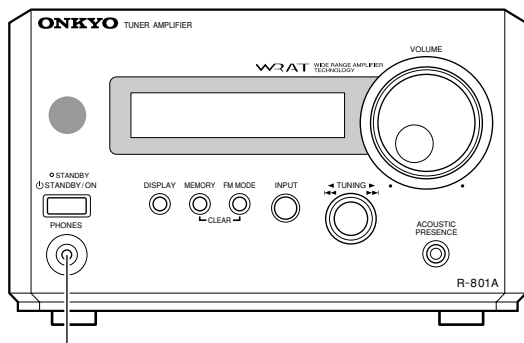
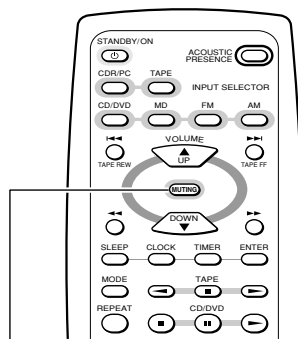
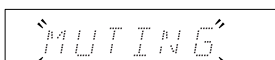
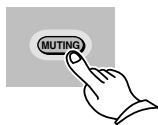
本機　　リモコン

機器の演奏を始め、音量を調整する

- 音量調整ツマミ(VOLUME)でお好みの音量に調整してください。
- 演奏のしかたは、各機器の取扱説明書を参照してください。

ご注意

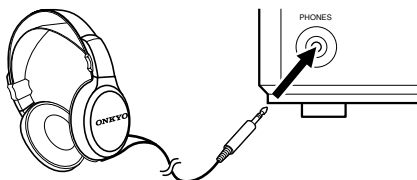
いきなり大きな音を出すとスピーカーが壊れることがあります。音を聞きながら少しずつ右に回して(音量が上がる)調整してください。

■音量を一時的に小さくする（ミューティング）

リモコンのみの操作です。

ヘッドホン端子(PHONES)

ミューティングボタン
(MUTING)

- 音はごく小さくなります。
- 表示部に“MUTING”が点灯します。

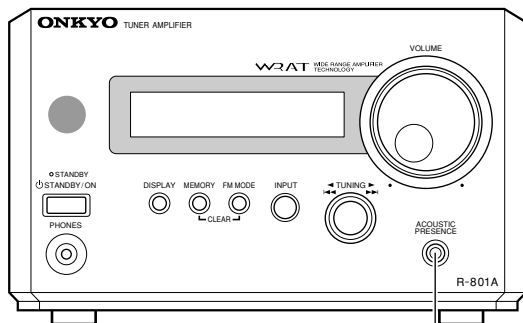
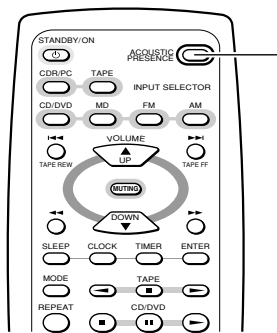
ミューティングを解除するには

もう一度ミューティングボタン(MUTING)を押してください。また、リモコンの音量調整ボタンを押すか、電源ボタンを押した場合にも解除されます。

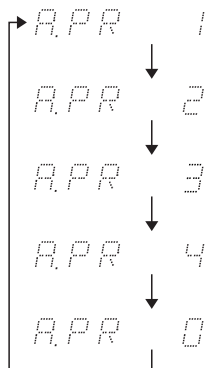
ヘッドホンで聞くには

ヘッドホン端子(PHONES)にステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。接続するときは、音量を下げてください。

スピーカーからの音が消え、ヘッドホンで音が聞こえるようになります。

■アコースティックプレゼンスボタン(ACOUSTIC PRESENCE)について

アコースティックプレゼンスとは .. 音楽のリアルな存在感“プレゼンス”を高める効果を持つオンキヨー独自の回路です。特にコンパクトサイズのスピーカーではON(1、2、3または4)でご使用されることを推奨いたします。

アコースティックプレゼンスボタン
(ACOUSTIC PRESENCE)

アコースティックプレゼンスボタン
(ACOUSTIC PRESENCE)

リモコンのボタンは　　で表示しています。

アコースティックプレゼンスオフの状態からアコースティックプレゼンスボタン(ACOUSTIC PRESENCE)を押すとインジケーターがオレンジ色に点灯します。

A.PR 1～4：プレゼンス効果が得られます。数字が大きくなるに従って、強い効果が得られます。

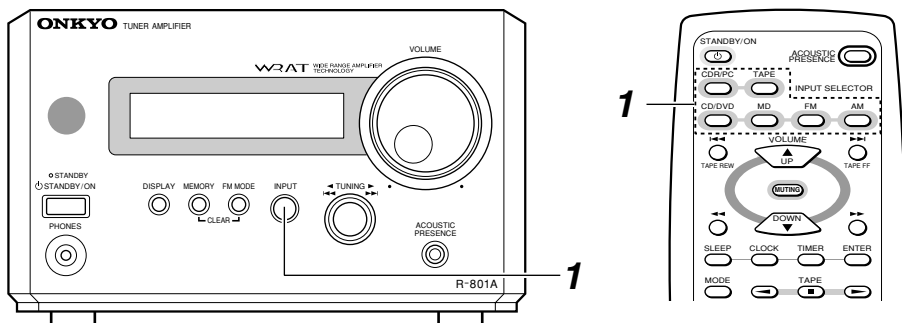
A.PR OFF：“プレゼンス効果は得られません。

録音する

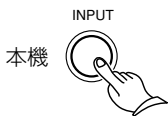
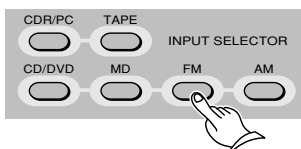
あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■録音する

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

リモコン

録音する機器（再生側）を選ぶ

入力切り換えボタン(INPUT)で録音したい再生機器を選びます。

2 録音する機器（録音側）の準備をする

- 録音機器を録音待機状態にします。
- 録音レベルの調整は録音機器で行ってください。
- 録音のしかたについては、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 録音を始める

1で選んだ再生機器を演奏します。

ご注意

録音中に入力切り換えボタンを切り換えないでください。正しい録音ができません。

放送を聞く

放送局を記憶させるには、次の 2 通りの方法があります。

- 受信可能なFM放送局を続けて受信し、自動的に記憶させる(オートプリセットメモリー)。
- 希望の放送局を受信し、希望のプリセットナンバーに記憶させる(プリセットメモリー)。

ご注意

- AM放送局を受信中にリモコンを操作すると、雑音が入ることがあります。
- 電源コードを抜いたり停電状態が2週間以上続くと、プリセットされていた放送局やキャラクターなどは消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

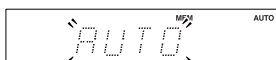
■自動的に放送局を記憶させる(オートプリセットメモリー)(FMのみ)

リモコンのボタンは　　で表示しています。

入力切り換えボタン(INPUT)でFMを選ぶ

表示部に“FM”が表示されます。

2

押し続ける

オートプリセットメモリーを始める

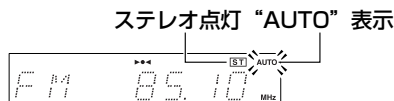
“AUTO”が点滅し、周波数表示が出て放送局を探し始めるまでメモリーボタン(MEMORY)を押し続けます。

- FMの最初から自動的に放送局を記憶していきます。
- プリセットナンバーは周波数の低い順に、最大20局まで放送局を記憶します。

ご注意

- 今までに記憶させたすべての放送局は、オートプリセットメモリーで記憶させた放送局に変更されます。
- FMの受信周波数範囲は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットメモリーは76.00～90.00MHzの間しか行われません。

■オート／モノの切り換えについて

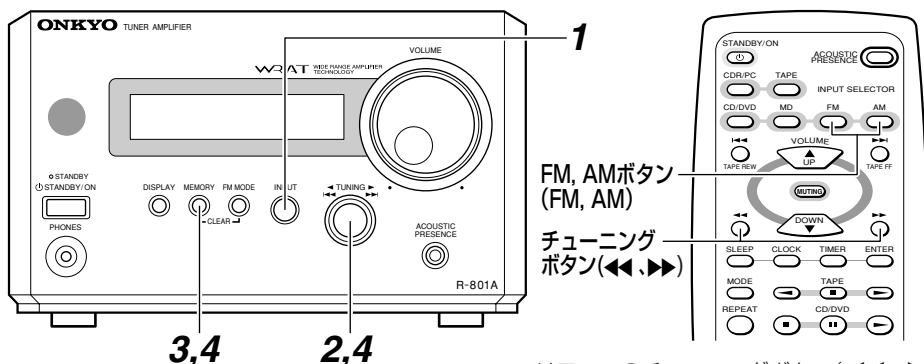
ステレオ点灯“AUTO”表示

FMステレオ放送をオートモードで受信する場合は、FMモードボタン(FM　MODE)を押し、“AUTO”表示を点灯させます。

- オートモードでFMステレオ放送を受信すると、“ST”(STEREO表示)が点灯します。

ヒント

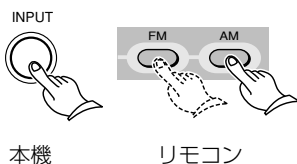
- 電波の弱い所や雑音の多い所では、“ST”表示は点灯しません。
  “ST”表示が点滅している場合はもう一度FMモードボタンを押して、“AUTO”表示を消してモノラル受信してください。雑音や音の途切れを軽減することができます。
- 受信状態の悪い場合は、室内アンテナの方向を変えたり、または窓際などの電波の強い場所へ移動してみてください。それでも改善されない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。

■希望の放送局を受信し、記憶させる(プリセットメモリー)

- メモリーボタン(MEMORY)を長く押し続けると"AUTO"点滅表示となり、さらに押し続けるとメモリーされたプリセット局がすべて消去されるオートプリセット動作に入りますので、ご注意ください。
- メモリーボタンを押したあとに約8秒間次の操作をしなかった場合、元の周波数表示に戻ります。(MEM(メモリー表示)消灯)

- リモコンのチューニングボタン(◀◀、▶▶)でも周波数を選ぶことができます。

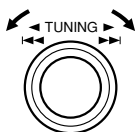
リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

INPUT　FM　AM

本機　　リモコン

受信バンド(FM/AM)を選ぶ

入力切り換えボタン(INPUT)またはリモコンのFM、AMボタンで希望の受信バンドを表示させてください。

2

- 放送局を受信すると表示部にチューンド表示が点灯します。
- 本機はテレビの1～3chの音声を受信することができます。オートチューニング(自動受信)では止まりませんので、**チューニング**／プリセットツマミで選局してください。

テレビの音声周波数
1ch: 95.75MHz、2ch:101.75MHz、
3ch: 107.75MHz

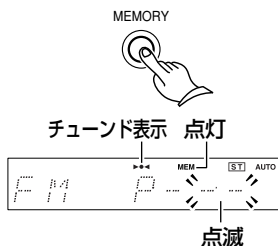
希望の放送局(周波数)を選ぶ

FMの場合

チューニング／プリセットツマミ(◀TUNING▶)を◀(または▶)方向へ回し保持するとオートチューニングが始まります。オートチューニング中にツマミを▶(または◀)方向に戻すと、50kHz単位で周波数を変えることができます。

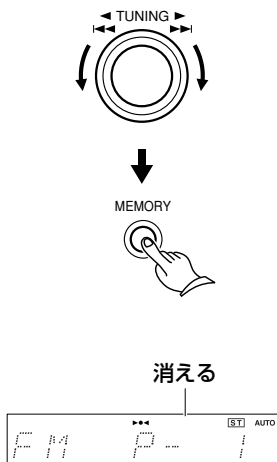
AMの場合

チューニング／プリセットツマミを◀(または▶)方向へ回すと、9kHz単位で周波数を変えることができます。

3

選んだ放送局を記憶させる

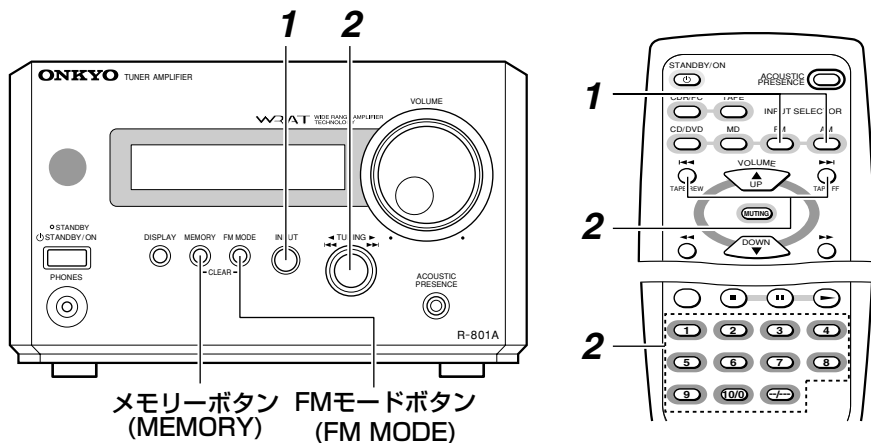
メモリーボタン(MEMORY)を押します。

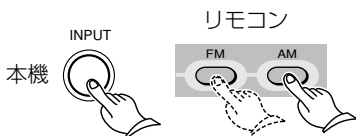
- “MEM”(MEMORY表示)が点灯します。

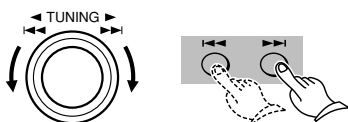
4

プリセットナンバーを選び、記憶させる

チューニング／**プリセット**ツマミ(⏮、⏭)を回して“-- --”に希望のプリセットナンバーを表示させます。

- メモリーボタンを押すと“MEM”(MEMORY表示)が消え、手順2で選んだ放送局が記憶されます。

- 次の放送局をメモリーするには、手順2〜4をくり返します。
- すでにプリセットされているナンバーは、表示の点滅が早くなります。このとき、あらたにプリセットすると元の放送局は消去されます。
- 記憶させることのできる放送局はAM、FM合わせて30局です。30局を越えると、"FULL"表示になり、それ以上は記憶できません。

■プリセットした放送局を聞く

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1 受信バンド(FM/AM)を選ぶ

入力切り換えボタン(INPUT)またはリモコンのFM、AMボタンで希望の受信バンドを表示させてください。

2 聞きたいプリセット局の番号を選ぶ

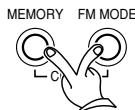
チューニング／**プリセット**ツマミ(◄◄、►►)またはリモコンの数字ボタンを押して希望の放送局を受信してください。

数字ボタンで選ぶには

5：5

12：--/--- 1 2

25：--/--- 2 5

プリセットした放送局を消す

- 上記「プリセットした放送局を聞く」の方法にしたがって、消したい放送局を選びます。
- メモリーボタン(MEMORY)を押しながら、FMモードボタン(FM MODE)を押します。プリセット局表示が P ––– になり、消去されます。

キャラクターを入れる

■キャラクターを登録する

プリセットメモリーした放送局ごとの愛称を好みのキャラクターを使って8文字まで表示することができます。

- キャラクターの種類は次の通りです。

␣A B C D E F G H I J K L
M N O P Q R S T U V W X Y
Z " & ' ( ) * + , - 、/ = ? [\
] I 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

␣はスペースを意味します。

1 キャラクターモードにする

DISPLAY

希望のプリセット局を受信し、ディスプレイボタン(DISPLAY)を2秒以上押します。

2 キャラクターを選ぶ

TUNING

チューニング／**プリセット**ツマミ(|◀◀、▶▶|)を回してキャラクターの種類を選びます。

3 キャラクターを記憶させる

MEMORY

メモリーボタン(MEMORY)を押して記憶させます。

- 手順2、3をくり返して合計8文字まで記憶させることができます。

ヒント 空白にしたいときは、空白のままでメモリーボタンを押してください。

4 登録する

DISPLAY

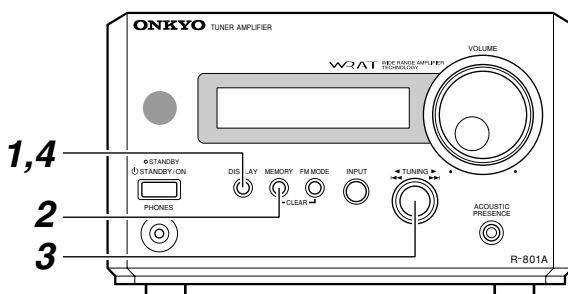
ONKYO

ディスプレイボタンを2秒以上押します。

ヒント カーソルが一番右端にある場合は、メモリーボタンを押すと登録できます。

キャラクターを入れる

■キャラクターを変更する

1

ONKYO

キャラクターモードにする

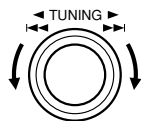
希望のプリセット局を受信し、ディスプレイボタン(DISPLAY)を2秒以上押します。

2

ONKHO

変更するキャラクターを選ぶ

メモリーボタン(MEMORY)で変更したい箇所まで点滅を移動させます。

3

ONKYO

キャラクターの種類を選ぶ

チューニング/**プリセット**ツマミ(|◀◀、▶▶|)を回して希望のキャラクターを選びます。

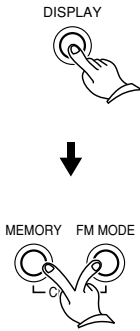
- 他に変更したいキャラクターがあるときは、手順2、3をくり返します。

4

ONKYO

変更登録する

変更が終わったら、ディスプレイボタンを2秒以上押します。

キャラクターを消すには

キャラクター表示中に2秒以上ディスプレイボタン(DISPLAY)を押します。

- メモリーボタン(MEMORY)を押しながら、FMモードボタン(FM MODE)を押してください。表示されていたキャラクターが全て消えます。

表示を切り換えるには

時刻合わせやキャラクター入力をしていれば、ディスプレイボタンを押すごとに

周波数→ キャラクター → 時計
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿|

の順に切り換わります。

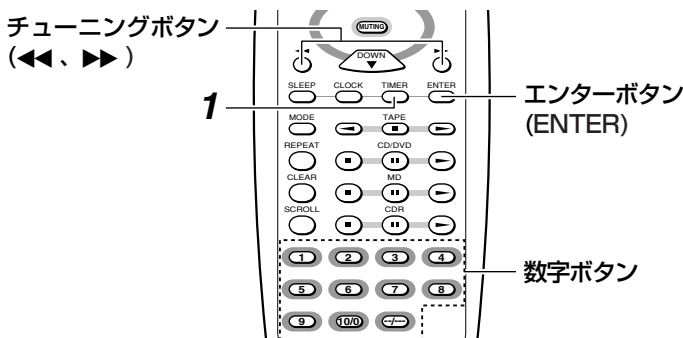
- プリセットした放送局を聞くときは、キャラクター表示の方を優先して表示します。キャラクターを登録していないときは、放送局(周波数)の表示となります。
- 時刻が未設定のときは、周波数とキャラクターが交互に表示されます。

タイマー演奏と録音（システム操作）

付属のシステムリモコン(RC-466S)を使って操作します。

ご注意

- 本書では電源が入った状態（スタンバイオン）で操作説明をしています。
- タイマー演奏中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 時刻合わせをしていないと、タイマー演奏やタイマー録音はできません。必ず時刻を合わせてください。現在時刻の設定については24、25ページをご覧ください。
- システム接続を確実に行なってください。接続が不完全ですと、タイマー演奏やタイマー録音はできません。

タイマー設定中に使用するボタンは、チューニングボタン(◀◀、▶▶)、タイマーボタン(TIMER)、エンターボタン(ENTER)、数字ボタンのみです。設定中に他のボタンを押すと、正しいタイマー設定ができなくなります。

タイマーのモードについて

W.DAY (WEEKDAY)：ウィークデイ(月〜金曜日)のタイマー演奏時刻を設定します。
- ウィークデイに含む曜日は、DAY SETで変更できます。

W.END (WEEKEND)：ウィークエンド(土曜日と日曜日)のタイマー演奏時刻を設定します。
- ウィークエンドに含む曜日は、DAY SETで変更できます。
- ウィークデイとウィークエンドは同じ曜日を設定することもできます。一日に二つのプログラムを設定する場合は、WEEKDAYとWEEKENDを同じ曜日に設定してそれぞれの時刻なども設定してください。

REC：NEXT、曜日、EVERYDAYの設定ができます。EVERYDAY以外は、設定した時刻に一度だけタイマー録音を行います。毎日同じ時間に録音したい場合は、EVERYDAYを選びます。

DAY SET：タイマー演奏の曜日を設定します。

ADJUST：現在時刻と曜日を設定します。すでに合わせている場合は、設定する必要はありません。

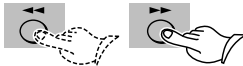
■タイマー演奏をする曜日を選ぶ...お好みの曜日に演奏をお楽しみになれます。

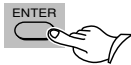
ご注意 数字ボタンで曜日を設定する場合は、時刻表示を24時間表示で行ってください。12時間表示ですと、数字ボタンでは設定をすることができません。

1

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して“DAY SET”表示を選び、エンターボタン(ENTER)を押します。

- WEEKDAYが 点滅します。

2

チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押して“WEEKDAY”または“WEEKEND”を選び、エンターボタンを押します。

3

数字ボタンを押すか、またはエンターボタンをくり返し押して、変更する曜日を点滅させます。

数字ボタンで選ぶ場合

1：S （日曜日）	5：T（木曜日）
2：M （月曜日）	6：F（金曜日）
3：T （火曜日）	7：S（土曜日）
4：W（水曜日）	

4

チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押して“設定を変更し、エンターボタンを押します。表示させた曜日にタイマーが動作します。

5

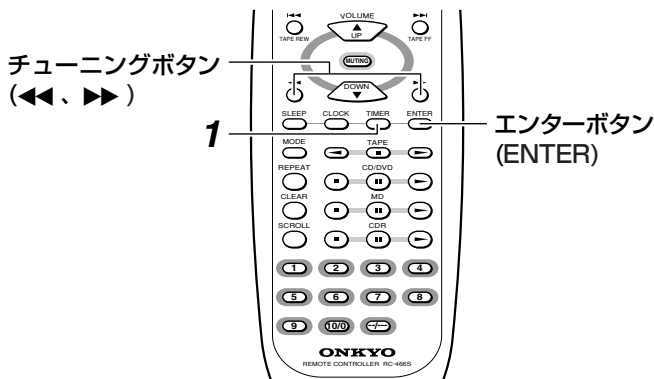
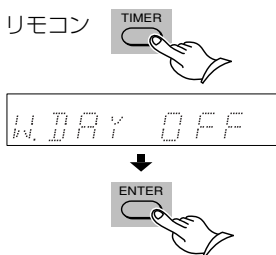
エンターボタンを押して右端の文字やカーソルを点滅させます。右端の文字やカーソルが点滅しているときに、再度エンターボタンを押して終了させます。

スタンバイ状態から設定した場合、エンターボタンを押すと表示部は消灯します。

■タイマー演奏をする

FM、AMのタイマー演奏やタイマー録音は放送局をプリセットしておいてください。
プリセットの方法は、「放送を聞く」(30～34ページ)をご覧ください。

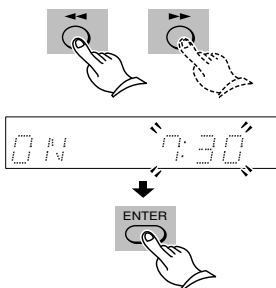
ご注意

時計を合わせていないとタイマーは働きません。必ず現在時刻を合わせてください。

“W.DAY OFF”または“W.END OFF”を選ぶ

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して“W.DAY OFF”または“W.END OFF”を選びエンターボタン(ENTER)を押します。

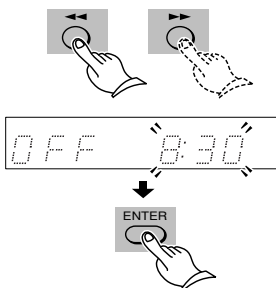
ヒント

ONまたはOFFの表示は、現在のそのタイマーが設定されているかを示します。初期設定はOFFに設定されています。

2

演奏開始時刻を設定する

チューニングボタン(◀◀、▶▶)でON(開始時刻)を選び、エンターボタン(ENTER)を押します。

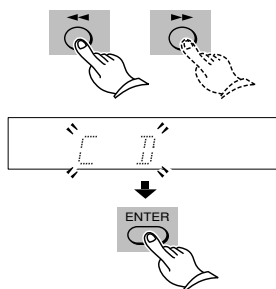
- チューニングボタンの代わりに数字ボタンで演奏開始、終了時刻を設定することもできます。数字ボタンで設定する場合は25ページの手順3を参照の上、時刻表示を24時間表示で行ってください。12時間表示ですと、数字ボタンでは設定をすることができません。
- 開始時刻(ON)を設定すると終了時刻(OFF)は自動的に1時間後の表示になります。

3

演奏終了時刻を設定する

チューニングボタン(◀◀、▶▶)で終了時刻(OFF)を選び、エンターボタンを押します。

4

ご注意

スタンバイ状態から設定した場合、エンターボタンを押すと表示部は消灯します。

演奏するソースを選ぶ

チューニングボタン(◀◀、▶▶)でFM、AM、CD(またはDVD)、MD、CDR、TAPEのいずれかを選び、エンターボタンを押します。
FMまたはAMを選んだ場合は、再度チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押してプリセットナンバーを選び、エンターボタンを押します。

- CDRを選んだ場合、タイマー時刻になると表示部にはCDR/PCと表示されます。
- 本機に接続されていないソースを選んだ場合、タイマー時刻になると電源が入り、入力が切り換わりますが、動作しません。

■タイマー演奏をする（つづき）

電源をスタンバイ状態にする

電源ボタン（STANDBY/ON）を押して、システムの電源をスタンバイ状態にします。

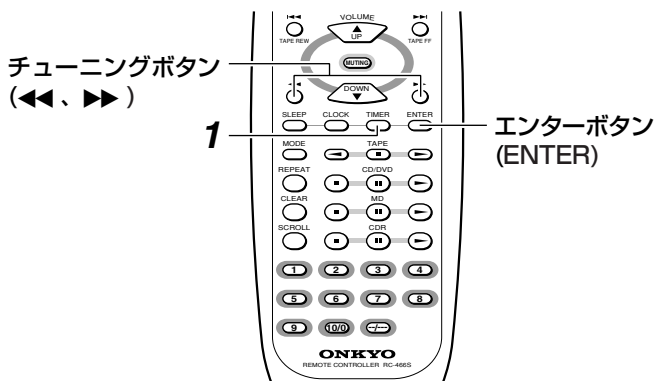
ご注意

電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマー時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

■タイマー録音をする

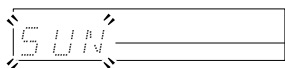
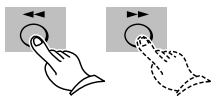
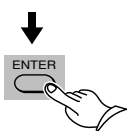
FM、AMのタイマー演奏やタイマー録音は放送局をプリセットしておいてください。
プリセットの方法は、「放送を聞く」(30〜34ページ)をご覧ください。

ご注意

- 時計を合わせていないとタイマーは働きません。必ず現在時刻を合わせてください。
- EVERYDAY録音以外のタイマー録音の実行は一度だけです。タイマー録音が終了すると予約は解除されます。

"REC OFF" を選ぶ

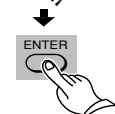
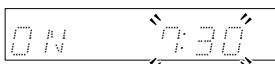
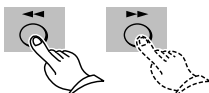
タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して"REC OFF" 表示を選んだ後、エンターボタン(ENTER)を押します。

■タイマー録音をする（つづき）

2

曜日を設定する

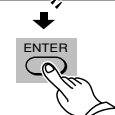
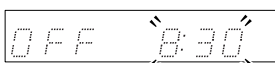
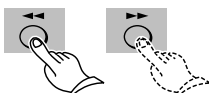
チューニングボタン(◀◀、▶▶)でNEXT、曜日(日〜土)またはEVERYDAY(毎日)を選び、エンターボタン(ENTER)を押します。

- “NEXT”を選ぶと曜日にかかわらず、設定した時刻がきたときにタイマーが働きます。
- “EVERYDAY”を選ぶと設定した時刻に毎日タイマー録音が始まります。(ラジオの英会話などを録音する場合に便利です。)

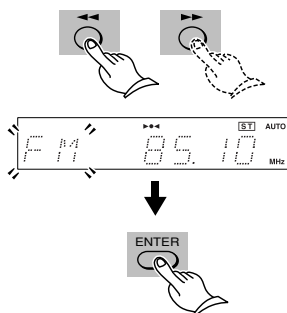
3

録音開始時刻を設定する

チューニングボタン（◀◀、▶▶）で開始時刻（ON）を選び、エンターボタンを押します。

- チューニングボタン(◀◀、▶▶)の代わりに数字ボタンで録音開始、終了時刻を設定することもできます。数字ボタンで設定する場合は25ページの手順3を参照の上、時刻表示を24時間表示で行ってください。12時間表示ですと、数字ボタンでは設定をすることができません。
- MDレコーダーに録音するとき、タイマー録音開始時、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分程早めに設定してください。
- 開始時刻(ON)を設定すると終了時刻(OFF)は自動的に1時間後の表示になります。

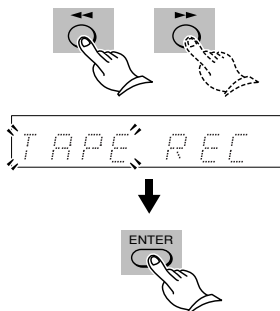
4

録音終了時刻を設定する

チューニングボタン(◀◀、▶▶)で終了時刻(OFF)を選び、エンターボタンを押します。

5

録音するソースを選ぶ

チューニングボタン（◀◀、▶▶）で“FM”または“AM”を選び、エンターボタンを押します。

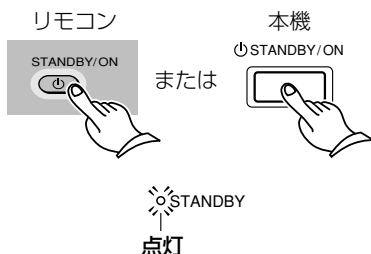
- FMまたはAMを選んだ場合は、再度チューニングボタン（◀◀、▶▶）を押してプリセットナンバーを選び、エンターボタンを押します。

6

録音する機器を選ぶ

チューニングボタン（◀◀、▶▶）で“TAPE REC”、“MD REC”、“MD/TAPE”のいずれかを選び、エンターボタンを押します。

ご注意

- MDレコーダーにFMまたはAMなどをアナログ録音するときは、MDの録音入力の設定は必ずAnalog Inにしてください。
- スタンバイ状態から設定した場合、エンターボタンを押すと表示部は消灯します。

7

電源をスタンバイ状態にする

電源ボタン（STANDBY/ON）を押して、システムの電源をスタンバイ状態にします。

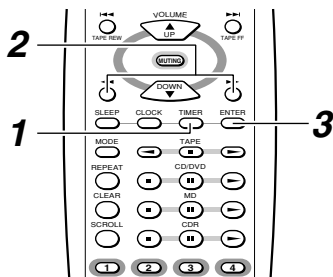
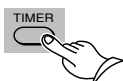
- タイマー録音中はミューティングが働いています。録音中の音を確認したいときは、リモコンのミューティングボタン（MUTING）を押して、解除してください。

ご注意

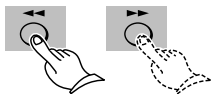
電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマー時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

■タイマーのオン(実行)／オフ(取消し)を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、取り消したタイマーを再び実行させたいとき、またはタイマー録音を再び実行させたいときに使います。
- 時計の現在時刻が設定されていないとタイマーを動作させることはできません。

1

リモコン

タイマーモードを表示させる

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して、希望のタイマーモード W.DAY ON(またはOFF)、W.END ON(またはOFF)、REC ON(またはOFF)を表示させます。タイマー設定をしていなければ、“OFF”が表示されます。

2

オン(実行)／オフ(取消し)を切り換える

チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押してオン(ON)/オフ(OFF)を切り換えます。

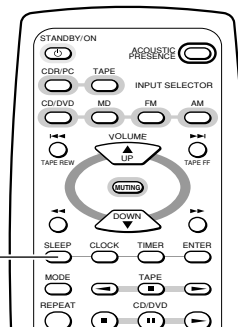
ご注意

チューニングボタン(◀◀、▶▶)を押さずにエンターボタン(ENTER)を押すと、開始時刻などの設定モードになります。

3

エンターボタン(ENTER)を押す

■スリープタイマー

- 設定した時間がすぎると、スタンバイ状態になります。
- タイマー演奏中、タイマー録音中にスリープタイマーを動作させると、スリープタイマーの設定時刻で電源が切れます。

スリープ時間を設定する

SLEEP 90

スリープボタン(SLEEP)を押すたびに90分から10分単位で時間が短くなります。

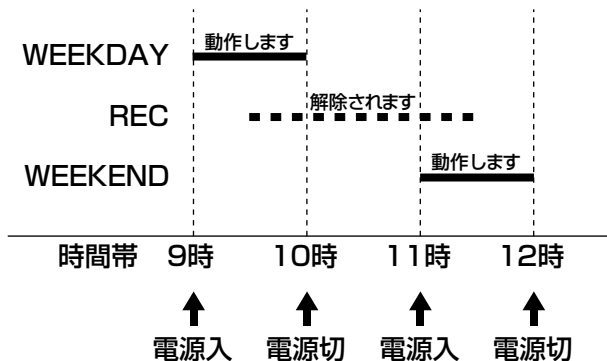
残り時間を確かめるには

スリープ動作中にスリープボタンを押すと電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに、再びスリープボタンを押すとスリープは解除されます。

スリープタイマーを解除するには

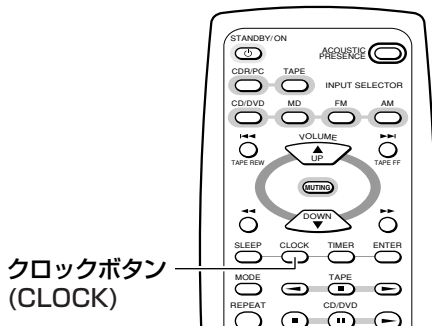
スリープインジケーターが消えるまでスリープボタンを押すか、一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れてください。

CDダビング中はダビングが完了してからスタンバイ状態になります。

■タイマー動作が重なった場合

- タイマー演奏（WEEKDAY）などですでに電源が入っているときに、タイマー録音（REC）など別のタイマー設定の開始時刻になっても、そのタイマーは動作しません。電源は先に動作しているタイマーの終了時刻になったときに切れます。
- また、WEEKDAYのタイマー終了時刻とRECのタイマー開始時刻が同じ場合もRECタイマーは動作しません。どのタイマー設定の場合も終了時刻から開始時刻は1分以上の間隔をとってください。
- WEEKDAY／WEEKEND／RECの2つ以上のタイマーが同じ時刻で設定されている場合、開始時刻で動作するタイマーの優先順位はWEEKDAY→WEEKEND→RECの順です。
- RECタイマーは、本機の電源が入っているなどで開始時刻が無効の場合、タイマー設定表示が消え予約を解除します。

現在時刻の表示

■現在時刻を表示させるには

- リモコンのクロックボタン(CLOCK)を押します。時刻合わせがされていませんと“ADJUST”を点滅表示します。時刻合わせをしてください。(24、25ページをご覧ください。)

現在時刻を表示する

電源が入っている場合

SUN 9:38

クロックボタン(CLOCK)を押すと曜日と時刻が表示されます。

- 元の表示に戻す場合は、もう一度クロックボタンを押します。
- 本機のディスプレイボタン(DISPLAY)でも操作することができます。(37ページをご覧ください。)

電源がスタンバイ状態の場合

クロックボタンを押すと時刻が表示されます。(時刻は電源が入っているときよりも少し暗めに表示されます。)

時刻表示は、5秒後に消灯します。(節電状態)

故障？と思ったら

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（R-801A）」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

症状	原因	処置
電源スイッチ（STANDBY/ON）を押しても電源が入らない。	●電源プラグの差し込みが不完全。	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込み直してください。
スピーカーの左右とも音が出ない。	●スピーカーコードの芯線部が他の端子や金属部に接触している。	●スピーカー端子の接続を点検してください。
	●音量が最小になっている。	●音量調整ツマミ（VOLUME）で適当な音量にしてください。（26ページ参照）
	●ミューティングがはたらいている。	●リモコンのミューティングボタン（MUTING）を押して解除してください。（27ページ参照）
	●ヘッドホンを接続している。	●ボリュームを下げてからヘッドホンをはずしてください。（27ページ参照）
	●CDプレーヤーやMDレコーダーなどから音の信号が入力されない。（音が出ていない）	●CDプレーヤーやMDレコーダーなど接続されている機器をお調べください。
	●タイマー録音している。	●タイマー録音中はミューティングが働いています。音を聞く場合は、リモコンのミューティングボタン（MUTING）を押して解除してください。
スピーカーの片側しか音が出ない。	●スピーカーコードがはずれている。	●スピーカー端子の接続を点検してください。
タイマー演奏をしたが音が出ない。	●音量が最小になっている。	●適当な音量に調整しておいてください。
リモコンで操作できない。		●電池を新しいものと交換してください。 ●リモコンは本機との距離が約5m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ30°以内で操作可能です。 ●リモコンの操作位置を変えるか、障害物を取り除いて操作してください。

症状	原因	処置
FMステレオ放送のとき、モノラル放送にくらべ「サー」というノイズが出る。	●FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるので放送局の電波の強さによってはノイズが少し出る。	●FMモードボタン(FM MODE)を押してモノに切り換えてください。
モノラル放送、ステレオ放送ともノイズが多い。	●アンテナの設置場所や向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	●室内アンテナなら屋外アンテナにしてください。 ●アンテナの設置場所、高さ、方向を変えてみてください。 ●素子数の多いアンテナに変えてみてください。 （アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。）
FMステレオ放送で“ST”表示が点滅し、完全に点灯しない。	●アンテナの向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	
音がひずんだり小さくなったりする。	●電波の乱れ。 ●近くを自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいる。	
ＦＭステレオ放送でノイズが多く、ときどき音が出なくなる。	●アンテナの設置場所や向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	
FMステレオ放送で音にひずみが多い。	●送信所からの電波(直接波)と近くのビルや山に反射した電波(反射波)との干渉によるマルチパスひずみが生じている。	
AM放送受信時、ノイズが入る。	●TVがすぐそばにあり、電源が入っている。	●AM室内アンテナをTVから離してください。 ●TVの電源を切ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。

ご注意

製品の故障により、正常に録音できなかったことによって生じた損害については保証対象になりませんので、大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることをご確認の上、録音を行ってください。

主な仕様

■アンプ（音声）部

実用最大出力：CD→SP OUT 4Ω（EIAJ）　24W+24W
定格出力　1kHz：CD→SP OUT 8Ω 両ch駆動　13W+13W
CD→SP OUT 4Ω 両ch駆動　17W+17W
ダイナミックパワー：8Ω　14W+14W
4Ω　21W+21W
全高調波ひずみ率：CD→SP OUT 8Ω 1kHz定格出力時　0.8%
混変調ひずみ率：CD→SP OUT 8Ω 両ch駆動　0.8%
ダンピングファクター：1kHz 8Ω　20
入力感度/インピーダンス：CDR/PC、CD/DVD、MD(PLAY)、TAPE(PLAY)
150mV/50kΩ
定格出力/インピーダンス：MD(REC)、CDR/PC(REC)、TAPE(REC)
150mV/2.2kΩ
周波数特性：CD→SP OUT 1W出力時　10Hz～100kHz/±3dB
SN比：LINE/DVD、CDR、CD、MD　100dB
(IHF-A、入力ショート)
アコースティックプレゼンス：

1	+4.5dB	at	41Hz
2	+5.5dB	at	82Hz
3	+6dB	at	41Hz
	+6dB	at	82Hz
4	+6dB	at	41Hz
	+6dB	at	82Hz
	+5dB	at	10Hz

ミューティング：−50dB

■ チューナー部

●FM
受信範囲：76.00～108.00MHz（50kHzステップ）
実用感度
　モノラル：11.2dBf、1.0μV（75Ω）
　ステレオ：17.2dBf、2.0μV（75Ω）
キャプチャレシオ：2.0dB
イメージ妨害比：40dB
IF妨害比：90dB
SN比
　モノラル：73dB
　ステレオ：67dB
2信号選択度：50dB
AM抑圧比：50dB
ひずみ率（1kHz）
　モノラル：0.2%
　ステレオ：0.3%
周波数特性：30～15,000Hz、±1.5dB
ステレオセパレーション：45dB（1kHz）30dB（100～10,000Hz）
ミューティングレベル：17.2dBf
アンテナインピーダンス：75Ω
●AM
受信範囲：522～1,629kHz（9kHz ステップ）
実用感度：30μV
イメージ妨害比：40dB
IF妨害比：40dB
SN比：40dB
ひずみ率（400Hz）：0.7%

■ 一般仕様

クロック精度：月差±30秒（25℃）
使用電源：AC100V、50/60Hz
消費電力：32W（電気用品安全法技術基準）
待機時電力：1W
外形寸法：155（幅）× 94（高さ）×285（奥行）mm
質量：2.9kg

■ リモコン RC-466S

方式：赤外線
信号到達距離：約5m
使用電池：単3型（1.5V）乾電池 2個

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(R-801A)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： ＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

ご購入店名： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Tel.　　　(　　)

メモ：

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口　修理のご依頼は取扱説明書の「故障？と思ったら」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

茨城・栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308
〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3
ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13
共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-6502
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在　お客様相談窓口、修理窓口、オンキヨーサービス認定店の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。